

科目名	ホテル概論						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	20時間	担当者	郡嶋 奨		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	日系ホテルにて、 宿泊部門スタッフとして勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル業を目指すうえで欠かせないホテル業の基本を学ぶ。何がホテル業の魅力なのか、お客様にとっていいホテルとは何なのか、またいいサービスとは何かをハード面とソフト面の両方で考える。また、夏のインターンシップに向けて日本を代表するホテルの名称とその特徴を学ぶ。あわせて国内系のホテルと外資系のホテルの違いと共通項を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ホテルの宿泊、料飲、宴会を中心とした各部署の業務内容を説明できる。	
	○					ホテルを構成する部署とその役割を説明できる。	
	○					日本を代表するホテルの名称を正しく言い、特徴を説明できる。	
	○					国内系のホテルと外資系のホテルの特徴やその違いを説明できる。	
	○					シティホテルとリゾートホテルの違いを説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	現代ホテル理論						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ホテルの魅力とは？ホテル物知り度チェック				レジメを読んで復習すること	
	2	福岡市内の主要ホテルとその歴史を学ぶ				レジメを読んで復習すること	
	3	東京の御三家について学ぶ				レジメを読んで復習すること	
	4	東京の外資系ホテルについて学ぶ				レジメを読んで復習すること	
	5	テーマパークのホテル、アーバンリゾートについて学ぶ				レジメを読んで復習すること	
	6	沖縄、北海道、九州のリゾートホテルについて学ぶ				レジメを読んで復習すること	
	7	新しいジャンルのホテルについて学ぶ				レジメを読んで復習すること	
	8	ホテルのレストランが高い理由を考える				レジメを読んで復習すること	
	9	実習先のホテルについて調べる方法を学ぶ				最終週の課題をする	
	10	インターンシップのホテルについて調べたことを発表する					
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	① 授業の中で確認テストを数回実施する。② 授業中に調べたこと、コメントを書いたレジメを提出してもらう。③ レポート(夏に行く予定のインターンシップのホテルについて調べたもの)を提出してもらい、最終週に発表を行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト		○				20%
	コメントを書いたレジメの提出		○				20%
	最終の実習先レポート		○				60%
履修上の注意	欠席を3回するとこの授業の単位取得を認めない。						

科目名	レストラン実務A						
科目名(英)	Restaurant practical operations A						
単位数	2単位	時間数	40時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系ホテルにて、 料飲部門スタッフとして勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル業界で活躍する能力を身に付けるにあたり、ホテルにおける料飲部門にて必要な専門知識や技術を習得する必要がある。この授業では、料飲部門の中でも特にレストラン部門に必要な什器備品の名称やサービス方法についてを学ぶ。また、この授業の成果をホテル実習にて存分に発揮することができるよう、実践的な授業にて技術を磨く。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			レストランサービスに必要な身だしなみや基本動作を学び、実践することができる。	
	○					レストランでの接客用語や什器備品の名称を覚え、正確に答えることができる。	
			○			レストラン部門に必要な専門技術の方法を覚え、正確に実践することができる。	
			○			レストラン部門に必要な専門技術を、他者の前で正確かつ迅速に実践することができる。	
	○					レストラン部門に必要な専門知識を身に付け、期末試験で合格点を取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	日本ホテル・レストランサービス技能協会監修 基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ホテルの料飲部門について、料飲実習服の着用規定、備品の場所			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	2	料飲部門での身だしなみ、基本姿勢と動作			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	3	接客用語、レストラン部門の組織			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	4	シルバウェアの知識、チャイナウェアの知識			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	5	グラスウェアの知識			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	6	リネン類の知識、什器備品の取り扱い方法と磨き方			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	7	オープン前・クローズ後の業務、テーブルクロスのかけ方			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	8	テーブルクロスの交換方法			これまでの授業項目が完璧にできるよう復習をしておくこと		
	9	テーブルナフキンの折り方			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	10	テーブルセッティング			これまでの授業項目が完璧にできるよう復習をしておくこと		
	11	アattend業務・オーダーテイク			これまでの授業項目が完璧にできるよう復習をしておくこと		
	12	トレイサービス(基礎)			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	13	トレイサービス(応用)			これまでの授業項目が完璧にできるよう復習をしておくこと		
	14	お皿の持ち方やパッシング方法、代表的なサービス形式とサーバーの使い方			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	15	レストランサービス実技試験練習1回目			実技試験に向けて準備をしておくこと		
	16	レストランサービス実技試験練習2回目			実技試験に向けて準備をしておくこと		
	17	レストランサービス実技試験練習3回目			実技試験に向けて準備をしておくこと		
	18	レストランサービス実技試験(1名ずつ実施)			実技試験に向けて準備をしておくこと		
	19	レストランサービス実技試験(1名ずつ実施)			実技試験に向けて準備をしておくこと		
	20	レストランサービス実技試験、レストラン専門用語、期末正試験対策			期末正試験に向けて復習をしておくこと		
評価方法	(1)授業中での実技試験(2)期末正試験(筆記)(3)受講する上での持参物(実習服や教科書) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験			◎			50%
	期末正試験	◎					40%
持参物				◎		10%	

履修上の注意	受講の際は料飲実習服を着用し、身だしなみを整えた上で参加すること。 出席が14回に満たない場合は、正試験の受験資格を与えない。						

科目名	宿泊実務 I						
科目名(英)	Rooms Practical Service						
単位数	2	時間数	40	担当者	一岡 浩己		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系ホテル13年勤務		
対象学科・学年	ホテルリゾート科 1年						
授業概要	宿泊部門におけるベルスタッフ、ハウスキーピング(客室係)の実務を実技形式で学ぶ。 該当部署の業務を理解しホテルの中での宿泊部門の役割を考える。 また、該当部署の業務に必要な専門用語を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			きれいな歩き方や方向の指し示しなど、ホテルで働く基礎となる動作を選択できる。	
			○			客室案内業務(エスコート)を実践することができる。	
			○			デュベタイプのベッドメイクを行える。	
	○					ベルスタッフの業務について専門用語を交えて説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	一般社団法人 日本ホテル教育センター 宿泊実務の基礎						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業内容の説明・業務特性・心得・基本動作・用語				教科書の範囲を読み不明なホテル用語を調べる。	
	2	フロントサービス業務① 内容:お出迎え・フロントへの案内・客室までの案内				範囲を説明し単語について調べる。	
	3	フロントサービス業務② 内容:入室・室内設備説明・退室・記録				範囲を説明し単語について調べる。	
	4	アテンド実技① 内容:お出迎えからフロントへの案内				実技内容のセリフを覚えてくること。	
	5	アテンド実技② 内容:客室への案内				実技内容のセリフを覚えてくること。 また、前回の動きについて復習しておくこと。	
	6	アテンド実技③ 内容:入室から客室整備説明				実技内容のセリフを覚えてくること。 また、前回の動きについて復習しておくこと。	
	7	アテンド実技④ 内容:退室から記録				実技内容のセリフを覚えてくること。 また、前回の動きについて復習しておくこと。	
	8	アテンド実技⑤ 内容:お出迎えからフロントへ案内+お見送り				実技内容のセリフを覚えてくること。 また、前回の動きについて復習しておくこと。	
	9	アテンド実技⑥ 内容:客室への案内から退室				実技内容のセリフを覚えてくること。 また、前回の動きについて復習しておくこと。	
	10	アテンド実技⑦ 内容:実技試験対策				実技内容のセリフを覚えてくること。 また、前回の動きについて復習しておくこと。	
	11	アテンド実技テスト①				動きの練習	
	12	アテンド実技テスト② /ドアマン業務について①				動きの練習	
	13	ドアマン業務について②				車の番号と車種を1種探してくる。	
	14	ホテルロビー業務実技 内容:お出迎えからの流れ				配布のセリフを覚えてくること。	
	15	ハウスキーピング業務					
	16	ベッドメイキング実技① 内容:ベッドの名称・ベッドメイク実務					
	17	ベッドメイキング実技② 内容:ベッドメイク					
	18	コンプレイン対応/団体客のIN/OUT業務					
	19	宿泊業務基礎まとめ①				これまでの授業に対して、不明点やもう一度聞きたい点を考えてくる。	
	20	宿泊業務基礎まとめ②				これまでの授業に対して、不明点やもう一度聞きたい点を考えてくる。	
(1)授業の中で実技テスト1回実施する。(2)授業中の中で小テスト2回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%

評価方法	実技試験	◎		◎			45%
	小テスト	◎	○				5%
履修上の注意	出席が14回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	一般教養 I A						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	20時間	担当者	合力 朱実		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				漢字検定準2級程度の漢字までは読み書きが出来る。	
		○				計算問題を中心に正確に解答することが出来る。	
	○	○				英検準2級程度の問題に解答することが出来る。	
		○				地理や政治における基礎的な内容を理解し説明が出来る。	
テキスト・教材 参考図書	専門学校生のための一般常識トレーニング ミニテスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目概要説明(シラバス)			次回学習部分に目を通しておくこと		
	2	ROUND1:国語(漢字の知識)、英語(動詞の活用変化)、社会(主な国際機関について、時事用語)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	3	ROUND2:社会(環境問題、政治、宗教)、国語(漢字の知識)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	4	第1回実力テスト ROUND2:英語(英文書き換え)、国語(敬語表現、文学史)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	5	ROUND3:英語(単語の知識)、社会(憲法に関して、思想)、国語(漢字の知識、四字熟語)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	6	ROUND4:社会(歴史、国際連合について)、国語(文学史)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	7	ROUND4:社会(歴史、地理、時事問題)、計算問題(分数) ROUND5:国語(漢字の知識)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	8	第2回実力テスト ROUND5:社会(世界の発明家について)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	9	ROUND5:英語(動詞の活用変化、時制、仮定法) ROUND6:社会(主な国際機関)、英語(空所補充)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	10	ROUND7:国語(四字熟語)、社会(各国の歴史と現在の状況、名言・名句)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験 (2)宿題、レポート (3)小テスト 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○		○		80%
	小テスト	◎	○		○		10%
	宿題・レポート	○	○		◎		10%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	サービス接遇						
科目名(英)	Hospitality and Service Skill Proficiency						
単位数	2	時間数	40	担当者	玉置万里子/稲崗 明子		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテルリゾート科 1年						
授業概要	サービス業に就くうえで必要なビジネスマナーの基礎知識を学び、優れたサービススタッフとしての心構えや立ち居振る舞いができる。サービス接遇検定2級を取得する。就職活動に必要な社会人に相応しい言葉遣いができ、自分の意見をきちんと伝えることができるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					サービス接遇検定2級の範囲を網羅し、各セクションの小テストに合格する	
		○				検定記述部分の敬語の模擬問題に合格する	
		○				授業中に実施する過去問題を10回以上実施し、5回以上合格点を取る(理:7問、実:9問)	
		○				検定記述部分の文書問題について、合格ライン(70点以上)の文書を作成する	
テキスト・教材 参考図書	・早稲田出版 サービス接遇検定2級公式テキスト、サービス接遇検定実問題集 1・2級 ・ウィネット 実践ビジネスマナー						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	サービス接遇検定2級の範囲と合格ラインを理解し、実問題を解く。			テキストと実問題集を持ってくること		
	2	検定対策 実問題:理論編 解答と解説			疑問点を残さず、周りや担当教師に質問すること		
	3	検定対策 実問題:実務編 解答と解説			疑問点を残さず、周りや担当教師に質問すること		
	4	検定対策 実問題:理論編 解答と解説			疑問点を残さず、周りや担当教師に質問すること		
	5	検定対策 実問題:実務編 解答と解説			疑問点を残さず、周りや担当教師に質問すること		
	6	検定対策 実問題:理論編 解答と解説			疑問点を残さず、周りや担当教師に質問すること		
	7	検定対策 実問題:実務編 解答と解説			疑問点を残さず、周りや担当教師に質問すること		
	8	検定対策 実問題:理論編 解答と解説			疑問点を残さず、周りや担当教師に質問すること		
	9	検定対策 実問題:実務編 解答と解説			疑問点を残さず、周りや担当教師に質問すること		
	10	検定模擬試験			疑問点を残さず、周りや担当教師に質問すること		
	11	テキスト(社交業務①)、敬語の基本			問題配布(自己採点)		
	12	テキスト(社交業務②)、会社のしくみ			敬語プリント提出		
	13	テキスト(商業用語)、電話対応の基本			電話のメモの取り方		
	14	テキスト(経済用語)、来客対応の基本			商業用語 小テスト		
	15	テキスト(ことわざ①、賀寿)、お茶の入れ方			経済用語 小テスト		
	16	テキスト(ことわざ②、年中行事)、レストランでの会話			実習準備① プリント提出		
	17	テキスト(環境整備、金品管理)、報連相実務			実習準備② プリント提出		
	18	ホテル実習に向けて①					
	19	ホテル実習に向けて②					
	20	期末試験 対策授業			これまでの小テスト、直前プリントを持ってくる		
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。合格しなかった場合はやり直して再提出する。 (2)過去問題を実施し、3回以上合格する。 (3)宿題(過去問題5回分)を自己採点し、提出する。 (4)検定を受験し、結果を評価に加える(合格100点、理論・実務のどちらかに合格70点、どちらも不合格 60点)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	小テスト・宿題	◎	○		○		10%
検定結果	◎	○				20%	

履修上の注意	出席が14回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ホテル英会話 I A						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	20	担当者	秋本佐代子、佐藤俊子		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテルでのインターンシップに必要な基礎的なスピーキング力を養う。専門用語や決まり文句を学び、ロールプレイ形式で受け答えの練習をする。またナチュラルなスピードに慣れるため、フォロイング練習も重ねていく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		お客さまのお出迎えから部屋の案内までの対応を英語でできるようになる。	
	○	○		○		レストランとルームサービスの場面で基本的な英文を使って接客できるようになる。	
	○					食材の表現を20個以上、日本語で説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	日本外国語専門学校 国際ホテル科 『ホテルのおもてなし英会話』(株)DHC(2017年)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ロビーサービス (お出迎え)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	2	ロビーサービス(客室へのご案内)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	3	ロビーサービス(客室設備のご案内)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	4	ロビーサービス(クロークサービス)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	5	筆記テスト(英文和訳) / フード&ビバレッジ(メニュー・食材の英単語)			今までの単語・フレーズをもう一度ノートに書いて覚える(1時間)		
	6	フード&ビバレッジ(朝食・アフタヌーンティ)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	7	フード&ビバレッジ(ディナーサービス)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	8	フード&ビバレッジ(ルームサービス)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	9	会話作成・練習			今までの単語・フレーズをもう一度ノートに書いて覚える(1時間)		
10	会話(ロールプレイ)テスト			会話を何度も音読練習する(0.5時間)			
評価方法	(1) 筆記テストを1回、(2) 会話テストを1回行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記テスト	◎	◎				50%
	会話テスト		◎				50%
履修上の注意	テキストを毎回持参。						

科目名	English Conversation I A						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	20時間	担当者	Jason,Andy,Eoghan		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	Hotel 1						
授業概要	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					Raise students' English proficiency	
	○					Give students more confidence in using English	
	○					Workplace related English skills	
テキスト・教材 参考図書	Speakout Elementary Book1						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Get to know your teacher				none	
	2	1.1 Nice to meet you				Preview lesson materials and review previous lesson	
	3	1.2 Travel Light				Preview lesson materials and review previous lesson	
	4	1.3 Can I Have a Coffee?				Preview lesson materials and review previous lesson	
	5	Teacher's Lesson or 1.4 Fawly Towers (needs TV/DVD)				Preview lesson materials and review previous lesson	
	6	1.5 Lookback /teacher's lesson				Preview lesson materials and review previous lesson	
	7	2.1 Join Us				Preview lesson materials and review previous lesson	
	8	2.2 High Flyers				Preview lesson materials and review previous lesson	
	9	2.3 What Time Does It Start?				Preview lesson materials and review previous lesson	
	10	Speaking Test				Review previous lesson material	
評価方法	Students evaluation: (1) Test = 50% (2) In-class Tasks = 50%						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験 Semester End Exam	○	○		○		50%
	小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%
履修上の注意	Students will not receive a grade if they miss more than 3 classes.						

科目名	実用英語 I A					
科目名(英)						
単位数	4	時間数	60時間	担当者	今長まゆみ、秋満陽子、中山久	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科1年生					
授業概要	ホテル業界で必要とされている英語力の向上のため、TOEICを通し、英語の基礎力を伸ばす。 TOEIC350点以上取得を目標とする。 日常英会話に留まらず、より高いレベルの英語力を持つ人材の育成を目標とする。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					英文法、基本構文の区別、語彙、リスニングを的確に行う。
	○					TOEIC350点を目標。
	○					ホテル業界の実務に必要とされるフレーズが使用できる。
テキスト・教材 参考図書	TOEIC L&Rテスト書き込みドリル、プリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	授業内容・評価方法説明 P24 人物の動作と状態			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	2	P28 物の状態と位置、単語テスト P48 品詞、単語テスト			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	3	P32 疑問詞を使った疑問文、単語テスト P52 動詞、単語テスト			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	4	P36 基本構文と応答の決まり文句、単語テスト P56 代名詞・関係代名詞、単語テスト			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	5	P40 YES/NO疑問文、単語テスト P60 接続詞・前置詞、単語テスト			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	6	P44 復習テスト①、P64 復習テスト②			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	7	P68 日常場面での会話			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	8	P104 表・用紙			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	9	P72 電話での会話			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	10	P108 広告			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	11	P76 オフィスでの会話①			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	12	P112 チャット			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	13	P80 オフィスでの会話②			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	14	P116 手紙・Eメール			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	15	P84 アナウンスツアー			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	16	P120 ダブルパッセージ			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	17	P88 ラジオ放送・宣伝			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	18	P124 トリプルパッセージ			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	19	P92 留守番電話			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	20	P96 トーク・スピーチ・会議の一部			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	21	P100 復習テスト③			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	22	P128 復習テスト④			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	23	P132 時制・代名詞・語い問題			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	24	P136 つなぎ言葉・文の挿入			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	25	P140 復習テスト⑤			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	26	総合模試対策			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
	27	総合模試対策			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)	
28	総合模試対策			間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)		

	29	総合模試対策	間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)				
	30	まとめ・期末試験について	間違えた問題を再度確認すること。(0.5時間)				
評価方法	(1)検定取得状況 (2)小テスト (3)定期試験(筆記) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	復習テスト	◎	○				50%
履修上の注意	辞書の持参。						

科目名	Word						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	40時間	担当者	山田 智子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	目標となるサーティファイのWord3級検定試験は幅広い文書作成機能を習得しているだけではなく、文字入力の手量も多いので、入力のスキルを上げることも重要である。そのためにWordの内容に入る前にタイプクイックソフトを使ってタッチメソッド(キーボードを見ない文字入力)のトレーニングをする。テキスト「30時間でマスター Word2016」を使って一般的なビジネス文書や表の作成方法を学習し、問題集「2016対応 Word 文書処理技能認定試験 3級問題集」を使ってより高度な機能の習得と検定対策を学習する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				マウス(パソコンの基本操作)を正しく操作できる。	
			○			キーボードを見ないで文字入力ができる。	
	○					ビジネス文書の社外文書と社内文書の違いを説明することができる。	
		○	○			ビジネス文書作成に必要な文字入力や編集機能を効率的に操作できる。	
	○				Word文書処理技能認定試験3級に合格する。		
テキスト・教材 参考図書	タイプクイック 30時間でマスター Word2016 2016対応 Word 文書処理技能認定試験 3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要の説明とパソコンの基本操作					
	2	タイプクイックの設定と操作・Word2016の基本操作			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	3	タイプクイック・Word_ローマ字入力			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	4	タイプクイック・Word_いろいろな文字入力			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	5	タイプクイック・Word_効率的な文字の訂正・Word_文章入力			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	6	タイプクイック・長文入力練習			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	7	タイプクイック・タイプクイックの成績提出、社内文書作成			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	8	Word_社外文書作成・表作成			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	9	検定問題集_練習問題1を演習を見ながら実習					
	10	検定問題集_練習問題1を演習を見ながら実習			練習問題1を仕上げる。		
	11	検定問題集_練習問題2_演習による解説後、各自で実習			練習問題2を仕上げる。		
	12	検定問題集_練習問題3_演習による解説後、各自で実習			練習問題3を仕上げる。		
	13	試験プログラムの使用方法・模擬試験1回目			模擬問題1を仕上げる。		
	14	模擬試験解説・検定問題集_模擬問題2_各目で実習し、不明点を個別対応で解説。			模擬問題2を仕上げる。		
	15	検定問題集_模擬問題3・4_各目で実習し、不明点を個別対応で解説。			模擬問題3,4を仕上げる。		
	16	検定問題集_模擬問題5・6_各目で実習し、不明点を個別対応で解説。			模擬問題5,6を仕上げる。		
	17	検定問題集_模擬問題7_各目で実習し、不明点を個別対応で解説。			模擬問題7を仕上げる。		
	18	検定類似問題_各自で実習し、不明点を個別対応で解説。					
	19	模擬試験2回目					
20	模擬試験解説・質疑・検定類似問題						
評価方法	(1)授業の中で検定対策として、模擬試験を2回実施する。 (2)テキスト「30時間でマスター Word2016」内の入力練習文・ビジネス文書作成の練習問題を70%以上仕上げる。 (3)検定問題集の10問を全て仕上げる。(2)(3)については、授業終了時にメモリに保存して提出。提出期限遵守も評価対象とする) (4)タッチタイプ(キーボードを見ないで入力すること)の習得とタイプクイックの成績提出。 (5)検定試験の点数を期末試験の評価とする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	検定試験	○	◎	○			50%
	模擬試験	○	◎	○			15%
	タイプクイックとタッチメソッド			◎	◎		10%

	上記(2)課題提出		○	◎	◎		5%
	上記(3)検定問題集	○	◎	◎			20%
履修上の注意	<p>出席が14回に満たない場合は、評価Dとする。 タッチメソッドは継続したトレーニングによって習得できる物なので、毎日15~20分程度の自主トレーニングが必要である。 操作技能が3級レベルに達しない場合は補講を実施する。</p>						

科目名	社会教養 I A						
科目名(英)	Social education I A						
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル見学や学外でのテーブルマナーに参加することによって、自身の目指す業界を肌で感じ、就職に対する意識を持つことを目的とする。また、7月からのホテル実習の意義を十分に理解し、その準備を行っていく。就職活動前の準備として課題作文に取り組む為、その提出状況も社会教養の成績評価に加味する。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
					○	社会人として相応しい身だしなみでホテル見学や企業説明会に参加することができる。	
		○				ホテル見学でのレポートを作成し、期日までに提出することができる。	
		○				課題作文を完成させ、期日までに提出することができる。	
					○	ホテル実習の準備に積極的に取り組み、完了させることができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	クラス委員決め、スポーツ大会委員決め、クラス目標、適性検査			決定したクラス目標を実践していくこと		
	2	ホテル実習の意義、実習内容説明、実習アンケート			ホテル実習の準備を進めること		
	3	実習用自己紹介シート、レポート・作文課題について			ホテル実習の準備を進めること		
	4	スポーツ大会準備			スポーツ大会の準備を進めること		
	5	ホテル実習用写真撮影			ホテル実習を意識した身だしなみを準備しておくこと		
	6	ホテル実習準備・伝達事項			ホテル実習の準備を進めること		
	7	ホテル実習準備・伝達事項			ホテル実習の準備を進めること		
	8	ホテル見学・ブッフェ体験			見学後、レポートを作成し提出すること		
	9	海外研修旅行説明会			海外研修旅行アンケートを提出すること		
	10	洋食テーブルマナー			見学後、レポートを作成し提出すること		
評価方法	(1)ホテル見学やテーブルマナーに参加した際は、レポート課題を実施する。(2)作文課題を実施する。 成績評価基準は、合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート課題提出状況				◎		50%
	作文課題提出状況					◎	50%
履修上の注意	ホテル実習準備やスポーツ大会準備の進捗状況により、授業回数が増える可能性があります。検定やイベント等での日程調整により、授業項目の順番に変更が出る場合もあります。						

科目名	GCB I						
科目名(英)	Global Citizen Basic I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーションなど、社会で生き抜くうえでの“人間力”の根本は、自分の環境における感謝の気持ちにある。日常生活の中で「与えられることが普通」と思ってしまう“他者依存”から脱却し、周囲との協働を保ちつつ使命感を持って行動できる自立心を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。	
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシック I 感謝心と思いやりの教育(学生用テキスト)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	グローバルシティズンを目指そう			振り返りレポートの作成		
	2	「協働」の態度を持った学生生活			振り返りレポートの作成		
	3	よりより人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～			振り返りレポートの作成		
	4	マナーの本質 I			振り返りレポートの作成		
	5	マナーの本質 II			振り返りレポートの作成		
	6	グローバルシティズンとしての日常			振り返りレポートの作成		
	7	グローバルシティズンとしての目標			振り返りレポートの作成		
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて			振り返りレポートの作成		
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成・発表				◎		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位未取得となる。						

科目名	ホテル実習						
科目名(英)							
単位数	10	時間数	400時間	担当者	木村匡志、一岡浩己		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系ホテルの料飲部門にて勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	10週間にわたって、ホテルにおける就業体験を通して、実践的スキルを習得する。						
授業形式	講義: △	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ホテルでの接客時に用いる敬語や言い回しを覚え、実際にお客様と会話することができる。	
		○				ホテル業界用語について学び、実習中にそれらを用いて社員とコミュニケーションをとることができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各ホテルのルールに沿って業務できる。	
			○			配属先の業務を覚え、業務に必要な技術を身につけることでお客様に接客できる。	
テキスト・教材 参考図書	各ホテルの業務マニュアル、実習ノート						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1 ～	各ホテルでの実習					
評価方法	(1)実習ノートの作成(学生)と現場スタッフによるコメント記入 (2)実習終了時の評価表作成(企業)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習ノート・評価表・出勤状況	○	○	○	○		100%
履修上の注意							